

JACCRO 臨床研究 Q&A 一般の方へ



Q：臨床研究に参加すると医療費の負担が増えますか？

A：原則として医療費の負担が増えることはありません。

ただし、臨床研究では患者さんの安全を守るためや正確なデータを取得するために通院回数が、同じ治療を日常臨床で行った場合に比べ増えると感じることがあります。

がんの臨床研究では効果と共に安全性も観察されます。効果については決まった時期に画像診断や腫瘍マーカーの測定などが行われます。安全性については問診、血液検査などを決まった間隔で行うように研究計画書に明記され、参加医師は計画書に沿って治療や検査を行います。

検査などのスケジュールは説明同意文書に明確に記すようになっています。臨床研究で行っている定期的な診察、検査は患者さんの安全を守る正しい方法と考えて良いでしょう。

臨床研究では附随した研究のために日常診療より多くの量の血液を採取することがありますが、この場合も医療費の負担増はありません。一方、通常診療より通院回数が増える研究計画もありますが、この場合は医療費の負担は確実に増えることになります。このような場合には、説明同意文書に参加する患者さんの不利益になるとして明確に説明するようになっています。